

2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 SBIインシュアランスグループ株式会社
 コード番号 7326 URL <https://www.sbiig.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員会長兼社長 (氏名) 乙部 辰良
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 大和田 徹 TEL 03 (6229) 0881
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,348	29.9	1,855	83.7	1,063	71.7
2020年3月期第1四半期	16,428	△0.4	1,010	45.3	619	42.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 2,683百万円 (△40.7%) 2020年3月期第1四半期 4,527百万円 (ー%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	42.86	—
2020年3月期第1四半期	27.16	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	185,401	44,274	23.8
2020年3月期	176,471	41,591	23.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 44,148百万円 2020年3月期 41,476百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2021年3月期の配当予想額については未定であります。

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による先行き不透明な状況が続いていることから、合理的な業績予想の算出が困難であるため、未定としております。今後、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	24,820,530株	2020年3月期	24,820,530株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	91株	2020年3月期	43株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	24,820,486株	2020年3月期1Q	22,820,516株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

「3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）」に記載のとおり、2021年3月期の連結業績予想につきましては、今後、合理的に予想可能となった時点で公表いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

※ 当社Webサイトに決算情報の補足説明資料を掲載しておりますので、ご参照ください。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(以下、当第1四半期)における当社グループの経営成績は、次のとおりとなりました。

(単位:百万円)

	2020年3月期第1四半期 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	2021年3月期第1四半期 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	対前年同四半期 増減率 (%)
経常収益	16,428	21,348	29.9
経常利益	1,010	1,855	83.7
親会社株主に帰属する四半 期純利益	619	1,063	71.7

当第1四半期の経常収益は、すべての事業における保有契約件数が堅調に増加したことが主な要因となり、前年同期に比べ4,920百万円増加し、21,348百万円(前年同期比29.9%増加)となりました。この増収効果に加え、損害保険事業における保険金支払いの減少等を受け、経常利益は前年同期に比べ845百万円増加し、1,855百万円(同83.7%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期に比べ444百万円増加し、1,063百万円(同71.7%増加)となりました。

保険販売の状況については、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策としての外出自粛要請などを受けて、保険代理店等の対面チャネルが販売減の影響を受けました。一方で、当社グループの保険販売において比重の大きい非対面チャネルでは、在宅率の増加等を受けインターネット経由を中心に販売が好調に推移したことから、保有契約件数は2,120千件(前年度末比1.9%増加)となりました。

また、当該感染症拡大に伴う外出自粛要請の影響により、自動車事故受付件数が20%超減少するなど、損害保険事業における保険金支払いの減少による正味損害率の改善(前年同期に比べ約20ポイント改善)が当社グループの増益に寄与しております。

なお、当社グループでは、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられたご契約者様を対象に、保険料の払込猶予期間の延長や、災害死亡保険金等の支払事由の範囲拡大、保険金請求手続きにおける必要書類の一部省略などの特別措置を実施するなど、企業の社会的責任を全うするにあたって必要な各種の取り組みを継続的に行っております。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(単位:百万円)

	経常収益			セグメント利益(経常利益)		
	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)	第1四半期連結累計期間		増減率 (%)
	2020年3月期	2021年3月期		2020年3月期	2021年3月期	
損害保険事業	7,382	8,226	11.4	396	954	140.6
生命保険事業	4,450	6,747	51.6	593	944	59.2
少額短期保険事業	4,625	6,444	39.3	181	109	△39.9
報告セグメント計	16,458	21,417	30.1	1,171	2,008	71.4
セグメント間消去又は調整	△29	△68	—	△161	△152	—
四半期連結損益計算 書計上額	16,428	21,348	29.9	1,010	1,855	83.7

(注)セグメント利益の「セグメント間消去又は調整」は、当社の一般管理費等による損益であります。

(損害保険事業)

自動車保険の新規契約を対象に、インターネット経由でお申込みいただく場合に適用されるインターネット割引金額を拡大するなど、非対面チャネルにおける競争力強化に取り組みました。また、SBIグループで推進する「地方創生」プロジェクトに沿って地域金融機関との協業にも積極的に取り組み、新たに株式会社福島銀行のWebサイト上での保険販売を開始するなど、新たな顧客基盤開拓に向けた取り組みを推進しました。こうした取り組みの結果、2020年6月末の保有契約件数は1,101千件(前年度末比0.9%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことにより、前年同期比11.4%増加の8,226百万円となりました。セグメント利益は、増収効果に加えて前述の正味損害率の改善が寄与したことなどにより、前年同期比140.6%増加の954百万円となりました。

(生命保険事業)

定期保険や就業不能保険、医療保険の販売は、新型コロナウイルス感染症の影響拡大によってお客様の関心が高まったことや、インターネットで契約手続きをいただいたお客様を対象としたキャンペーンの展開などにより、非対面チャネルを中心に好調に推移しました。また、2020年5月より、BCP(Business Continuity Plan、事業継続プラン)の強化を目的に、グループ会社であるSBI日本少額短期保険株式会社の大坂本社内に「SBI生命大阪ビジネスセンター」を新設するなど、業務運営の一層の安定性向上を目指した取り組みを推進しました。こうした取り組みの結果、2020年6月末の保有契約件数は200千件(前年度末比5.9%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が増加したことや、特別勘定資産運用益などの特別勘定(※)に係る経常収益の増加などにより、前年同期比51.6%増加の6,747百万円となりました。セグメント利益は、団体信用生命保険における保険料収入の増収が大きく寄与し、前年同期比59.2%増加の944百万円となりました。

(※) 変額保険や変額個人年金保険は運用実績を直接契約者に還元するため、契約者に帰属する特別勘定として資産・負債及び損益を区分経理します。特別勘定に係る収益と費用は、それぞれ同額を計上するため利益に影響を与えないものの、損益計算書の経常収益及び経常費用に含めて表示します。

(少額短期保険事業)

SBIいきいき少額短期保険株式会社では、資料請求者全員を対象としたキャンペーンの展開やペット保険の新テレビCMのオンエア開始などに取り組み、非対面チャネルにおける販売プロモーションの強化に努めました。また、SBI日本少額短期保険株式会社では、新たにバイク・自転車保険の自動更新制度を導入するなど、当社グループの少短各社において「顧客中心主義に基づく業務運営方針」の下、お客様のご要望にお応えした新サービスの開発・提供に取り組みました。こうした取り組みの結果、2020年6月末の保有契約件数は819千件(前年度末比2.2%増加)となりました。

経常収益は、保有契約件数が堅調に増加したことや、前年度の6月28日に当社グループ入りした日本アニマル倶楽部株式会社(現:SBIプリズム少額短期保険株式会社)の経常収益が当第1四半期に含まれていることから、前年同期比39.3%増加の6,444百万円となりました。一方、セグメント利益は、前年同期に比べのれん償却額が増加したことなどにより、前年同期比39.9%減少の109百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、185,401百万円(前年度末比8,930百万円増加)となりました。主な勘定残高は、有価証券123,580百万円(同5,675百万円増加)、現金及び預貯金29,134百万円(同1,359百万円増加)であります。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、141,127百万円(同6,247百万円増加)となりました。主な勘定残高は、保険契約準備金124,728百万円(同2,489百万円増加)であります。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、44,274百万円(同2,683百万円増加)となりました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加1,608百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が1,063百万円増加したことです。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
現金及び預貯金	27,775	29,134
買入金銭債権	797	7,396
金銭の信託	2,489	177
有価証券	117,904	123,580
貸付金	247	182
有形固定資産	536	547
建物	266	270
リース資産	39	38
その他の有形固定資産	230	239
無形固定資産	8,046	8,128
ソフトウェア	3,766	3,914
のれん	3,359	3,313
その他の無形固定資産	920	900
代理店貸	154	88
再保険貸	4,230	3,839
その他資産	12,589	10,629
繰延税金資産	107	104
支払承諾見返	1,600	1,600
貸倒引当金	△7	△7
資産の部合計	176,471	185,401
負債の部		
保険契約準備金	122,239	124,728
支払備金	16,930	16,554
責任準備金	103,485	105,886
契約者配当準備金	1,823	2,287
代理店借	312	188
再保険借	3,686	4,255
その他負債	5,734	8,485
退職給付に係る負債	37	35
価格変動準備金	623	648
繰延税金負債	647	1,183
支払承諾	1,600	1,600
負債の部合計	134,879	141,127
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,375	8,375
資本剰余金	32,061	32,061
利益剰余金	1,902	2,966
自己株式	△0	△0
株主資本合計	42,338	43,402
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△862	746
その他の包括利益累計額合計	△862	746
新株予約権	21	21
非支配株主持分	93	104
純資産の部合計	41,591	44,274
負債及び純資産の部合計	176,471	185,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
経常収益	16,428	21,348
損害保険事業	7,369	8,193
保険引受収益	7,100	8,055
正味収入保険料	6,506	7,914
積立保険料等運用益	3	3
支払備金戻入額	—	137
責任準備金戻入額	590	—
資産運用収益	237	117
その他経常収益	30	20
生命保険事業	4,444	6,740
保険料等収入	2,409	3,525
保険料	2,048	2,768
再保険収入	360	756
資産運用収益	1,085	2,985
利息及び配当金等収入	635	522
有価証券売却益	209	508
金融派生商品収益	161	0
為替差益	—	1
その他運用収益	0	0
特別勘定資産運用益	79	1,953
その他経常収益	949	229
少額短期保険事業	4,615	6,415
保険料等収入	4,516	6,236
資産運用収益	0	0
その他経常収益	98	178
経常費用	15,418	19,493
損害保険事業	6,961	7,239
保険引受費用	5,056	5,244
正味支払保険金	4,665	4,174
損害調査費	900	942
諸手数料及び集金費	△586	△719
支払備金繰入額	77	—
責任準備金繰入額	—	846
その他保険引受費用	—	0
資産運用費用	31	26
営業費及び一般管理費	1,870	1,965
その他経常費用	2	3

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
生命保険事業	3,855	5,798
保険金等支払金	2,805	3,202
保険金	615	548
年金	340	215
給付金	269	266
解約返戻金	824	944
その他返戻金	332	344
再保険料	421	883
責任準備金等繰入額	—	1,603
責任準備金繰入額	—	1,603
資産運用費用	192	15
支払利息	0	0
有価証券売却損	8	3
為替差損	172	—
その他運用費用	10	11
事業費	828	923
その他経常費用	28	53
少額短期保険事業	4,439	6,302
保険金等支払金	2,621	3,957
責任準備金等繰入額	66	41
事業費	1,727	2,290
その他経常費用	24	12
その他	161	152
経常利益	1,010	1,855
特別損失	22	25
価格変動準備金繰入額	22	25
契約者配当準備金繰入額	285	466
税金等調整前四半期純利益	701	1,364
法人税及び住民税等	75	262
法人税等調整額	3	32
法人税等合計	79	294
四半期純利益	622	1,069
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	5
親会社株主に帰属する四半期純利益	619	1,063

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	622	1,069
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,905	1,613
その他の包括利益合計	3,905	1,613
四半期包括利益	4,527	2,683
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,525	2,672
非支配株主に係る四半期包括利益	1	10

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注)1						
外部顧客への経常収益	7,369	4,444	4,615	16,428	—	16,428
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	13	5	10	29	△29	—
計	7,382	4,450	4,625	16,458	△29	16,428
セグメント利益(注)3	396	593	181	1,171	△161	1,010

(注)1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△161百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

少額短期保険業を営む日本アニマル倶楽部株式会社(現:SBIプリズム少額短期保険株式会社)の子会社化により、少額短期保険事業におけるのれんが2,882百万円増加しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	損害保険 事業	生命保険 事業	少額短期 保険事業	計		
経常収益(注)1						
外部顧客への経常収益	8,193	6,740	6,415	21,348	—	21,348
セグメント間の内部経 常収益又は振替高	32	6	29	68	△68	—
計	8,226	6,747	6,444	21,417	△68	21,348
セグメント利益(注)3	954	944	109	2,008	△152	1,855

(注)1. 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

2. セグメント利益の調整額△152百万円は、当社の一般管理費等による損益であります。

3. セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。